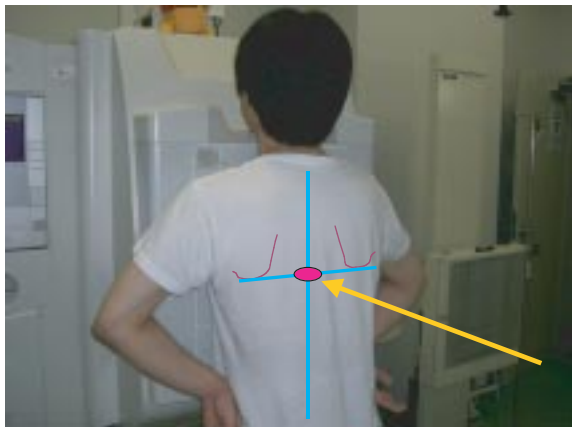


胸部 胸部立位正面 (P→A)

■ 撮影方法

胸部立位正面 (P→A)		120kV 200mA フォトタイマ 200cm (+)
体 位	立位．後前方向．手背を腰部に当て，肘を前方に出す．立位が不可能な場合は坐位前後方向にて撮影する．最大吸気停止にて撮影する．	
中 心 線	立位撮影台に対して垂直に肩甲骨下縁（第7～8胸椎の高さ）で正中面に入射する．A→Pの際は胸骨中心に入射する．	

胸部立位正面 (P→A)



肩甲骨下縁（第7～8胸椎の高さ）に垂直に入射

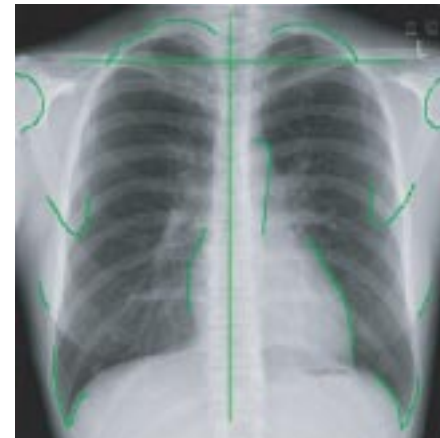
■ 画像評価

X線画像のポイント



胸鎖関節の幅が左右均等で，肩甲骨は肺野の外側に描出する．写真濃度は左右肩が同程度で，全肺野にわたってほぼ均一に描出する．肋骨，横隔膜角を左右描出する．

撮影技術ポイント



適正な撮影条件にて撮影する（条件，マーク位置）
 正面は左右対称に撮影する（鎖骨は左右対称で挙上していない体位とする）
 両側の上腕骨骨頭を十分に含めて撮影する
 肩甲骨は肺野からできるだけ除かれるような体位とする
 横隔膜が十分に含まれ，肋骨，横隔膜角が欠けないようにする
 心陰影側の肺野が観察できるような撮影条件にする

胸部 胸部立位側面（Lat）

■ 撮影方法

胸部立位側面（Lat）		120kV 200mA フォトタイマ 200cm （+）
体 位	立位．右→左方向．方向指示のない場合は基本的に胸部左側を撮影台につけ，上半身を軽く前傾する．両手は拳上し補助具を握らせる．撮影指示や右肺に病変がある場合は，右側を撮影台（左→右方向）につける．最大吸気停止にて撮影する．	
中 心 線	胸部正面の中心線の高さで胸部側面中央に入射する．	

胸部立位側面（Lat）



胸部正面の中心線の高さで胸部側面中央に入射

■ 画像評価

X線画像のポイント



胸椎にねじれがなく，真側面になり左右肋骨が重複して描出する．左右横隔膜角が見える．

撮影技術ポイント



適正な撮影条件にて撮影する（条件，マーク位置）
正確な側面像を描出する
横隔膜が十分に含まれ，肋骨，横隔膜角が欠けないように描出する
心陰影側の肺野が観察できるような撮影条件にする